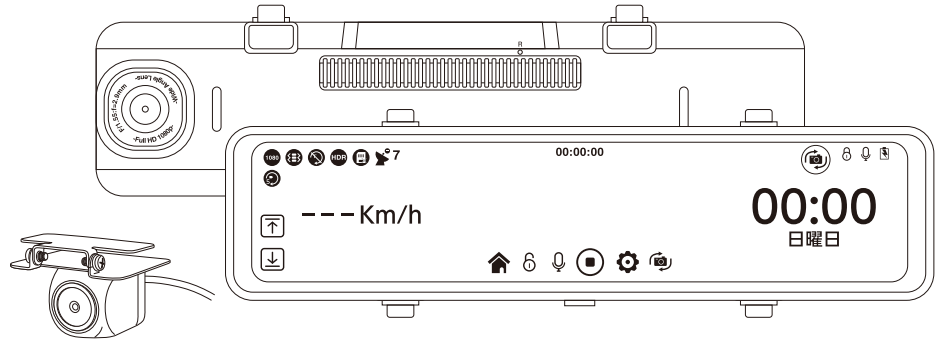


TDR02MFR

ドライブレコーダー 2カメラ ミラー型

取扱説明書



このたびは本製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく取り付け、使用方法をお守りください。お読みになった後は、ご購入時のレシートなどご購入明細と一緒に大切に保管し、必要な時にお読みください。

目次

各注意事項

- 免責事項について P03
- 使用前のご注意 P03
- 使用上のご注意 P04
- 取り付け前に確認してください P07
- フロントカメラについて P07
- 液晶モニターについて P08
- リアカメラについて P09
- アクセサリーソケット電源について P09
- GPSについて P09
- 録画について P10
- リバース連動機能について P10
- カメラレンズについて P11
- アイドリングストップ車について P11
- microSDカードについて P11

取り付けに関して

- 製品構成 P12
- 各部の名称 P13
- 取り付け配線イメージ P14
- 画面表示範囲と記録データについて P15
- フロントカメラの取り付け P16
- リアカメラの取り付け P17
- GPSアンテナの取り付け P17
- リバース連動ケーブルの接続 P18
- microSDカードの入れ方/出し方 P19
- アクセサリーソケットへの接続 P19

使用に関して

- 電源ON/OFF メイン画面 P20
- メイン画面アイコン P21
- 設定画面 P22
- 設定アイコン P23
- ホーム画面 P24
- 静止画撮影画面 P25
- システム設定画面 P26
- システム設定アイコン P27
- ファイル再生画面 P28
- 動画ファイル再生 P29
- 静止画閲覧画面 P30
- 静止画の閲覧 P31
- 常時録画・衝撃感知録画について P32
- PCビューアー(ダウンロード)のご紹介 P33
- 製品仕様 P34
- 保証規定 P35

免責事項について

- 本製品の故障や使用によって生じた損害、および記録された映像やデータの損傷、破損による損害については、弊社では一切の責任を負いません。
- 本製品が記録したデータは事故の証拠としての効力が保証されるものではありません。
- 本製品は全ての状況において映像やデータを記録することを保証するものではありません。
- 本製品を使用してデータなどが消失した場合、弊社では一切の責任を負いません。
- 正しく本製品が取り付けられていない場合、落下する恐れがあります。取り付け車両への損傷、破損による損害については、弊社では一切の責任を負いません。
- 使用環境や天候により正しく記録できない場合がありますが、弊社では一切の責任を負いません。
- LED方式の信号機は録画データがちらつく可能性があり、色の識別ができない場合があります。それに起因する損害については、弊社では一切の責任を負いません。
- 本製品で記録した映像は、使用目的や使用方法によっては、被写体のプライバシーなどの権利を侵害する場合がありますが、弊社では一切の責任を負いません。
- 本製品は日本国内での使用を前提としており、日本国外で使用された場合、弊社では一切の責任を負いません。

使用前のご注意



- 本製品使用中の交通事故、交通違反に関しては、弊社では一切の責任を負いかねます。運転時は交通ルールを守り、車間距離や周囲の状況に注意して安全運転に努めてください。
- 本製品は全ての状況においての映像やデータを記録することを保証するものではありません。
- 記録された映像やデータの損傷、破損による損害は、弊社では一切の責任を負いかねます。
- 本製品の映像やデータの記録は事故の証拠として効力を保証するものではありません。
- 本製品を取り付けたことにより、車両や車載品の故障、破損、事故などの損害に関しては、弊社では一切の責任を負いかねます。
- 本製品の仕様および取扱説明書の仕様に関して、改良のため予告なく変更することがあります。
- 取扱説明書に記載されているイラスト(製品・付属品・設置・配線・表示画面など)はイメージであり、実際とは異なる場合があります。

- 安定的な動作のため、microSD/microSDHC/microSDXCカード(以下、microSDカードと記載)は定期的(1~2週間)にフォーマットをおこなうことをお勧めいたします。
- microSDカードは消耗品です。長期間使用すると保存機能に問題が発生する恐れがありますので定期的な交換をお勧めいたします。
- microSDカードに起因する記録データの損傷、消失につきましては、弊社では一切の責任を負いません。




■使用上のご注意

●安全のために必ずお守りいただくことを説明しています。ご使用前に使用上の注意をよくお読みのうえ、正しくご使用ください。警告、注意には人的危害や財産への損害を未然に防ぐ内容が含まれていますので、ご理解のうえ必ずお守りください。






次の表示区分に関しましては、表示内容を守らなかった場合に生じる危害、または損害程度を表しています。

 警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡、または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が重傷を負う可能性、および物的損害の発生が想定される内容を示しています。












内容の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。

 してはいけない、「禁止」の内容。	 必ず守っていただく、「強制」の内容。	 「注意」しなければならない内容。
--	--	--







警告

 禁止	運転や視界を妨げたり、同乗者に危険をおよぼす場所には取り付けけない。 運転に支障をきたす場所、前方・後方の視界を妨げる場所、同乗者に危険をおよぼす場所への取り付けは、事故やケガの原因となります。
 強制	運転者は走行中に操作をしない、または画像表示を注視しない。 走行中の操作や画像表示の注視は、前方不注意など交通事故の原因になります。必ず、安全な場所に停車し、操作してください。
 強制	取り付け、配線後は、クルマの電装品が正常に動作することを確認する。 クルマの電装品(ブレーキ、ライト、ホーン、ハザード、ウィンカーなど)が正常に動作しない状態で使用すると火災や感電、事故の原因となります。
 禁止	取り付けには車両の保安部品のボルトやナットなどを絶対に使用しない。 ステアリングやブレーキなどの保安部品のボルトやナットなどを使用して取り付けると事故の原因となります。
 禁止	クルマの安全装置の動作を妨げる場所には取り付け、配線をおこなわない。 クルマに装備されている安全支援装置や安全装置の動作に支障をきたす取り付け、配線をおこなわないでください。事故やケガの原因となります。





04

 強制	必ず、規定容量のヒューズを使用する。 規定容量を超えるヒューズを使用すると火災や発煙、発火、故障の原因となります。
 強制	ケーブル類は、運転や乗り降りの妨げにならないように配線する。 ステアリング、シフトレバー、ブレーキペダル、足などに巻き付かないように引き回し、まとめたり固定しておくなど、配線処理をしてください。事故やケガの原因となります。
 強制	取扱説明書に従って正しく配線、取り付けをおこなう。 取扱説明書に従って正しく配線、取り付けをおこなわないと火災や事故の原因となります。
 強制	国産車(右ハンドル)、DC12V/24V車で使用する。 本製品は国産車(右ハンドル)、DC12V/24V車専用です。外車など、それ以外のクルマには使用できません。火災や故障の原因となります。
 強制	配線、取り付け作業中は必ずバッテリーのマイナス端子をはずす。 バッテリーマイナス端子を繋いだまま配線、取り付け作業をおこなうと、ショートによる感電やケガの原因となります。
 禁止	分解や改造はしない。 本製品を分解、改造はしないでください。故障、火災、感電の原因となります。
 禁止	故障や異常のまま使用しない。 画面が表示されない、異常な動作をする、異臭や煙が出るなど異常を感じた場合には直ちに使用を中止してください。発火などの原因となります。
 強制	製品内部に水や異物を入れない。 内部に水分や異物が入ると動作不良の原因やショートや絶縁不良で発熱し、火災や発煙、発火、感電の原因となります。
 禁止	乳幼児の手の届くところに置かない。 小さな部品を誤飲、ケーブルでの窒息などによるケガ、事故の原因となります。
 禁止	車載用(四輪車)以外に使用しない。 車載用(四輪車)以外に使用すると発煙、発火、感電、故障、ケガの原因になることがあります。
 禁止	強い衝撃を与えない。 落下させる、叩くなど強い衝撃を与えると故障や火災の原因になることがあります。

05

 禁止	ケーブルを挟み込んだり、引っ張ったりキズをつけない。 ケーブルに負担をかけるとショートや断線により発煙、発火、故障の原因となります。
 強制	必ず、付属品や指定の部品を使用する。 指定以外の部品を使用すると機器の内部を損傷したり、しっかりと固定できず機器が脱落したり、事故や故障、火災の原因になることがあります。
 強制	水のかかる場所や湿気、ホコリの多い場所に取り付けけない。 雨や洗車などで水がかかったり、湿気、ホコリなどが機器内部に入ると、発煙、発火、感電、ケガ、故障の原因になることがあります。
 強制	振動の多い場所や不安定な場所に取り付けけない。 振動の多い場所や強い曲面などに取り付けると走行中にはずれたり、落下したり、事故やケガの原因になることがあります。
 強制	液晶画面に表示される画像とミラー表示は異なります。 液晶画面に表示されるカメラ映像とミラーに映る範囲は異なります。あらかじめ違いを確認してください。
 強制	運転中は周囲の安全を直接確認する。 本製品のカメラは死角を完全にカバーするものではありません。運転中は必ず、周囲の安全を直接確認しながら運転してください。

注意

 注意	一定以下の衝撃では、衝撃感知録画されない場合があります。 本製品の重力センサーは、小さな衝撃では衝撃感知録画されない場合があります。必要な記録データはロックをおこなうか、保存をおこなってください。
 注意	運転前に必ず、正常に取り付けられているかを確認してください。 運転前に各取り付け部が、正常に取り付けられているかを確認してください。正常に取り付けられていない場合、脱落したり、事故や故障の原因になることがあります。
 注意	車両のガラス面、本製品のレンズ表面をきれいに保つ。 クルマのフロントガラス、リアガラスと本製品のカメラレンズ部はきれいに保ってください。ホコリや異物による反射や屈折現象できれいに記録できない場合があります。
 注意	日本国内のみで使用する。 本製品は日本国内のみで使用してください。海外ではご使用にならないでください。

06

■ 取り付け前に確認してください

- 道路交通法および、関連する法令、規定類に抵触しないよう正しく取り付けてください。
- 取り付け前に必ず、各ケーブルが接続でき、操作がおこなえる位置であるかを確認してください。
- 本製品は防水防塵構造ではありません。雨などで水で濡れない車内に取り付けてください。
- 配線処理は運転や乗り降りの妨げにならないように、しっかりと処理してください。
- 各配線が引っぱられた状態で配線の取りまわしをおこなうと、断線や接触不良により正しく動作しない可能性があります。また、電源が入らなくなったり、突然電源が落ちるなどの可能性があります。配線は余裕を持たせて取りまわしてください。
- クルマの各種センサー装置（安全支援装置、各種無線通信機など）に干渉しない場所に取り付け、配線をしてください。
- シートベルトやエアバッグなどの安全装置の動きを妨げる場所には取り付けしないでください。事故の際に安全装置が正常に動作せず、ケガの原因となります。
- 本製品は精密機器のため、強い衝撃を与えないでください。故障の原因となったり、破損、火災、感電の原因となります。
- 本製品の付属品は他の製品に使用しないでください。

■ フロントカメラについて

- 視界の妨げにならないよう取り付けしてください。
- カメラレンズ周囲には他のものを設置しないでください。映像に映り込む可能性があります。
- 車検証ステッカーなどに重ならないよう取り付けしてください。
- 強い衝撃を与えないでください。故障、破損の原因となります。
- 他の車載器や無線通信機、テレビ、ラジオなどの近くで使用すると、お互いに影響を受けたり、与えたりする場合があります。
- 純正ルームミラーの形状やミラー周辺の干渉物によっては、取り付けができない場合があります。
- 純正ルームミラーへの取り付けは固定バンドで確実に取り付けしてください。取り付けに不備があると走行中に脱落するなど大変危険です。
- 本製品は純正ルームミラーに取り付ける仕様のため、走行中の振動などで振れてしまったり、傾いてしまう場合があります。
- ワイパーの拭き取り範囲外に取り付けしないでください。降雨時など鮮明に記録できなくなります。
- 本製品の上下方向を確認し正しい向きで取り付けしてください。
- 本製品のミラーで後方がしっかり見えるように調整してください。
- 本製品のミラーは純正ルームミラーと距離感、視界が異なります。
- 本製品はカメラの映像を表示するため、実際の距離感、視界とは異なりますので充分にご注意ください。
- 本製品は広角レンズを使用しているため、映像の一部にゆがみが生じることがあります。また、実際の遠近感とも異なります。これらは広角レンズの特性であり本製品の異常ではありません。
- 取り付けおよび角度調整をおこなう場合には必ず、純正ルームミラーを持ちながらおこなってください。純正ルームミラーを持たずにおこなうと本製品が外れたり、取り付け強度の弱い一部車種（軽自動車やフロントガラス接着型ルームミラー車）のルームミラーが破損する恐れがあります。
- 本製品は、車内のGPS機能を持つ製品やVICS受信機に影響をあたえる可能性があります。

07

- クルマに装備されている各種センサー装置（安全運転支援装置、衝突回避支援装置、エアバッグ、ETCなど）の機能が妨げられないよう取り付けをおこなってください。
- 本製品の固定バンドは長期使用期間が経過すると劣化する恐れがあります。固定バンドが劣化すると本製品の脱落の恐れがありますので走行前には必ず、本製品が純正ルームミラーにしっかりと取り付けられていることをご確認のうえ、走行してください。
- 本製品を取り付けると、純正ルームミラーの防眩機能は使用出来なくなります。
- 本製品に異なる製品のカメラやGPSアンテナ、電源を絶対に接続しないでください。故障の原因となったり、破損、火災、感電の原因となります。
- 紫外線の影響により本体が色あせする場合があります。

■ 液晶モニターについて

- 同じ画像を長時間や繰り返し表示した場合、液晶モニターの性質により画面の焼付きが起こる可能性があります。
- 液晶モニターは99.99%以上の有効な画素がありますが、一部点灯しない画素や常時点灯する画素が存在する場合があります。これらの現象は故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。
- 偏光サングラス使用時、表示が見えなくなる場合があります。
- 液晶モニターは周囲の温度が約-10℃以下または約60℃以上になると液晶モニター全体が黒くなったり、画像表示が遅延、画像が消えるのに時間を要する場合があります。これは液晶モニターの特性であり、故障ではありません。周囲の温度が液晶モニターの安定動作する温度になると元の状態に戻ります。
- 使用環境により、太陽光や照明などの直接光、反射光がカメラ視野範囲内に映り込むと液晶モニターが見えにくくなる場合があります。
- サンルーフ車などの場合は、液晶モニターへの映り込み軽減のため、ルーフシェードを開けてご使用ください。
- 純正ルームミラーとの見え方の違いにより、目が疲れたり、対象物の大きさや距離感が異なって見える場合があります。特にカメラ画像時には、液晶モニターに映る車両や障害物が実際の大きさと異なる場合があります。
- 本製品は純正ルームミラーとは視野の範囲が異なります。
- 明るい場所から暗い場所などに移動した場合には急激な明暗の変化にノイズが発生する場合がありますが、これはカメラレンズの性質であり、故障ではありません。
- 夜間など暗い環境下では、次のような現象が発生することがありますが異常ではありません。
 - ・映像の色と実際の色が異なって見える。
 - ・後続車のライトなどの影響によって、後続車の周囲が白くぼやけて見える。
 - ・映像を自動調整することにより、特有のちらつきが発生する。
- 映像を長時間表示していると発熱することがありますが異常ではありません。
- 体調や年齢などにより、液晶モニター表示に焦点が合うまで時間がかかる場合があります。焦点が合わせづらいと感じた時は、ミラーモード（液晶モニターOFF）に切り替えてください。
- 主に同乗者が液晶モニターを凝視すると車酔いを起こす恐れがあります。
- 液晶モニターに表示されるカメラ映像は、実際に見える現実の風景とは異なる場合があります。
- 液晶モニターに表示されるカメラ映像は、映像処理の影響により応答速度が遅くなり、滑らかに表示しない場合があります。
- 液晶モニターの汚れは、市販のガラス用クリーニングクロスなどで清掃してください。

08

■ リアカメラについて

- 本製品専用のリアカメラです。その他の製品に接続すると、故障の原因となりますので、接続しないでください。
- リアカメラを取り付ける際は、液晶モニターでリアカメラの映像が上下逆さまになっていないことを確認してから、取り付けしてください。
- リアカメラの取り付け位置によって、後方車両のヘッドライトや太陽光などの光の反射の影響を受けやすくなる場合があります。
- クルマのリアガラスがスモークフィルムなどのプライバシーガラス仕様の場合、リアカメラの映像が暗くなったりする影響があります。
- 本製品の電源がONの状態ではリアカメラケーブルの抜き差しはしないでください。故障の原因となります。
- 本製品のリアカメラは死角を完全にカバーするものではありません。後退時には必ず、後方や周囲の安全を直接確認しながら運転してください。
- 本製品のリアカメラは車内取り付け専用です、絶対に車外には取り付けしないでください。
- リアカメラを取り付ける前に必ず取り付け面の油分や汚れなどをしっかりと拭き取り確実に貼り付けてください。
- リアカメラ取り付け後、両面テープがしっかり貼り付くまで引っ張ったり無理な力が加わらないようご注意ください。
- リアカメラの配線処理の際、ケーブルが車両のバックドア開閉の妨げにならないようご注意ください。無理に配線処理をすると断線などが起き、故障や破損の原因となります。
 - ※取り付けや配線処理が困難な場合は、車両販売店や専門業者へお問い合わせください。

■ アクセサリーソケット電源について

- 国産車専用です。輸入車で使用されて、トラブルが発生しても弊社では一切の責任を負いません。また、一部国産車であってもアクセサリーソケットの形状が適合しない場合があります。
- クルマのキーを抜いても常時アクセサリーソケットに電源供給されている車種は、降車時に必ず本製品の電源をOFFにするか、アクセサリーソケット電源プラグを抜いてください。
- 本製品のアクセサリーソケット電源プラグはクルマのアクセサリーソケットに直接接続してください。市販の分岐アクセサリーソケットアダプタには接続しないでください。電源供給不足により正常に動作しない場合があります。またカメラ映像にちらつきが発生する場合や故障、誤作動の原因になる場合があります。
- 本製品を使用しない時は、アクセサリーソケット電源プラグをアクセサリーソケットから抜いてください。

■ GPSについて

- GPSとは、「Global Positioning System」の略です。アメリカ国防総省の衛星を利用し、地上での現在位置を計測するシステムです。
- トンネル内やビルの谷間、山間部などでは、GPSの電波を受信できなくなる場合があります。また、衛星の受信状態などにより、約50m~100m程度の測定誤差が発生する場合があります。
- 自車位置はGPS受信で測位されます。GPSの電波が受信できない場所では、完全に自車位置が測位されない場合があります。
- 速度情報は、クルマのスピードメーターの速度計測方法と異なるため表示される速度に差が生じる場合があります。また、停車状態であっても速度表示が0Km/hにならない場合がありますが、これはGPSの電波の受信誤差によるものであり、故障ではありません。あらかじめご了承ください。
- 本製品の録画データに記録される日時、クルマの走行速度、位置情報はGPSの測位から算出するため、実際の数値と異なる場合があります。
- GPSユニットを布などで覆ったりしないでください。GPS性能が落ち、十分な性能を発揮できなくなります。
- クルマのフロントガラスにコーティング剤または特殊加工が施されている場合は、GPSの電波の受信に影響が出る場合や電波が受信できなくなる可能性があります。

09

- GPSアンテナは、各種車載器（ETCアンテナ、TVアンテナ、ナビゲーション、テレビチューナー）などからなるべく離れた位置に設置してください。近くに取り付けるとGPSが正常に機能せず、電波を受信しなくなったり、本製品もしくは各種車載器が誤作動を起こす原因となる場合があります。取り付け前に各車載器やGPSの電波受信に影響のない場所を確認し取り付けください。
- GPS電波の受信環境により起動時間が長くなったり、GPS電波受信までに時間がかかる場合があります。また、GPS電波受信が長時間にわたって受信できない場合があります。
- 本製品を最後に電源をOFFしてからの自車位置と次に電源をONにした地点が離れていた場合、GPS電波受信までに時間がかかる場合があります。
- クルマに装備されている各種センサー装置（安全運転支援装置、衝突回避支援装置など）のカメラなどの近くに取り付けた場合、ノイズ干渉によりGPSが測位しづらくなる場合があります。
- ナビゲーションやTVチューナーなど車載電子機器からの電波によりGPS電波を受信できない場合があります。
- 長期間使用されない場合、GPS電波受信に時間がかかる場合があります。その場合、電源ONしてからしばらくすると正常にGPS電波を受信します。
- GPS電波が受信できない場合、速度表示機能、日時表示機能、経緯度記録機能は使用することができません。

録画について

- 本製品は事故における証拠として、効力を保証するものではありません。
- 本製品は全ての状況下で録画を保証するものではありません。
- 本製品の故障や使用による損害、また録画した映像の破損や損傷によって生じた損害は弊社では一切の責任を負いかねます。
- 本製品の動作を確認するための急ブレーキなど危険な運転は絶対にしないでください。
- 本製品で録画した被写体は、プライバシーの侵害となる場合があります。取り扱いにご注意ください。
- LED方式の信号機では画面がちらつくことがあり、色の識別ができない場合があります。それに生じた損害は弊社では一切の責任を負いかねます。
- 走行中に本製品を操作したり、液晶モニターを注視しないでください。
- 本製品の操作や静止画撮影をおこなう場合には周囲の安全を十分に確認したうえで操作してください。
- 本製品の操作などをおこなう場合は必ず、安全な場所で車両が止まっている状態（パーキングレンジに入れて、サイドブレーキがかかっている状態）でおこなってください。
- 夜間に記録した映像にノイズが入っているように見えたり、一瞬映像が赤くなる場合がありますが、カメラの性能によるためであり、故障ではありません。
- 本製品起動後、microSDカードの読み込みのため記録開始まで時間がかかる場合があります。必ず録画が開始されていることを確認してください。

リバース連動機能について

- 本製品はバックギアに入れることで、クルマの後方をバックカメラの映像を液晶モニターで確認することができます。※リバース連動ケーブルの配線作業をおこなった場合のみ。
- リバース連動のリアカメラ映像だけを見てクルマの後退は絶対におこなわないでください。
- クルマを後退する際は、直接目視で後方を確認しながら後退を開始してください。リバース連動のリアカメラ映像は後方確認の補助手段としてご使用ください。
- リバース連動のリアカメラが映し出す範囲には限界があります。
- リバース連動時に表示されるガイドラインはあくまでも目安となります。
- 夜間や暗い場所、天候など使用状況により画質が低下する場合があります。
- リアカメラの映像は広角レンズを使用していますので実際の距離と異なって見えます。必ず直接目視で後方を確認し、ゆっくりと運転してください。

10

カメラレンズについて

- 本製品のカメラレンズは広角レンズを使用しているため、映像に一部ゆがみや影が生じることがあります。また、実際の遠近感とも異なります。これらは広角レンズの特性であり、本製品の異常ではありません。

アイドリングストップ車について

- 一部のアイドリングストップ車では、エンジン再始動時に電圧変動が発生することにより、供給電圧が低下する場合があります。その場合、本製品が電源OFFとなる可能性があります。
- 車両のバッテリー状態により、エンジン再始動時に本製品が電源OFFになる場合があります。その場合はクルマのバッテリー電圧を確認してください。

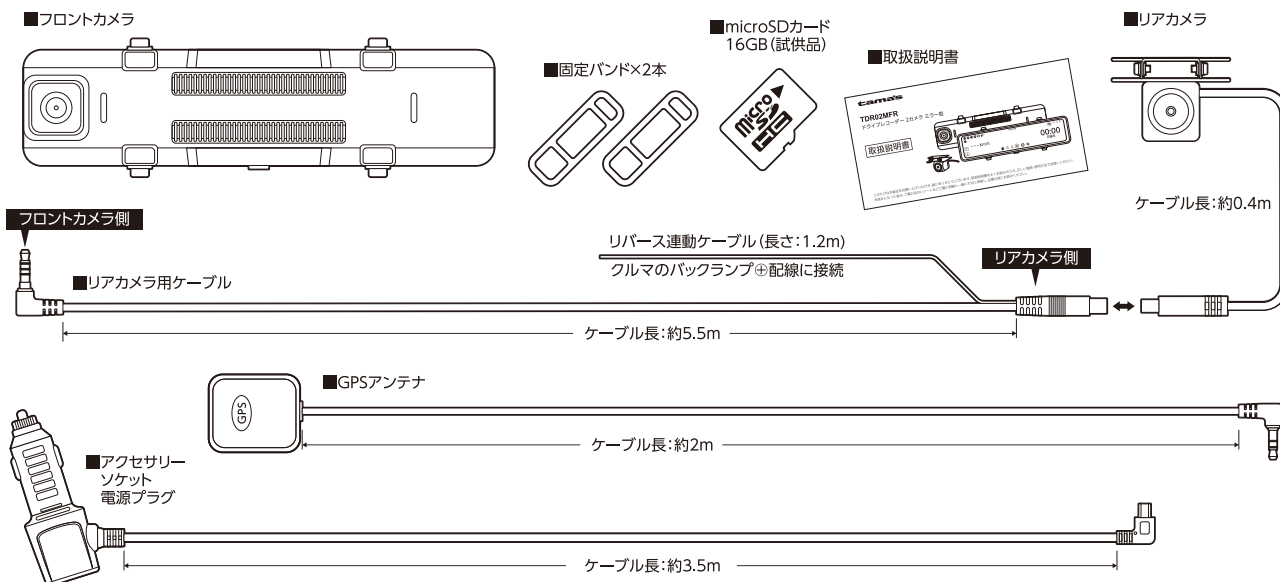
microSDカードについて

- microSDカードは消耗品ですので、定期的な新品への交換を推奨します。正常に使用していても、長期間使用すると、正常に記録できなくなる場合やmicroSDカードエラーになり使用できなくなる場合があります。
- フォーマットしないままご使用されると正しく録画できない場合があります。
- microSDカードに異常がある場合は、本製品でフォーマットができない場合があります。
- microSDカード自体の寿命で使用できなくなった場合、パソコンでも読み込みができなくなり、正常にご使用できなくなります。
- microSDカード内に本製品以外のデータは保存しないでください。正常に動作しなくなる場合があります。
- microSDカードをフォーマットすると、記録されたデータは全て削除されます。必要なデータはあらかじめバックアップをしてください。
- microSDカードの容量により起動時間が変動する場合があります。
- microSDカードエラー発生時は、記録ファイルが復旧できない可能性があります。
- microSDカードを取り出す時には、本製品の電源をOFFにしてください。
- microSDカードの故障や破損により、データが消失する可能性がありますので、定期的なデータのバックアップをお勧めします。
- 市販のmicroSDカードによっては、認識しない場合や挿入、取り出しがしにくい場合があります。
- 市販のmicroSDカードとの相性による動作不良については一切の責任を負いかねます。
- 市販のmicroSDカードについての仕様に関しては、microSDカードメーカーへお問い合わせください。
- 本製品は全てのmicroSDカードの動作を保証するものではありません。市販のmicroSDカードを使用した場合の動作不良に対しては保証外となります。
- microSDカードの消耗に起因する故障や損傷においては、弊社が保証するものではありません。
- microSDカードのあらゆる事象において破損、消失したデータの復旧サービスなどはおこなっていません。
- フォーマット作業によるmicroSDカードの不具合修復を弊社が保証するものではありません。
- フォーマット作業によるmicroSDカードのデータ消失やその他の損害が発生した場合、弊社は一切の責任を負いかねます。

11

製品構成

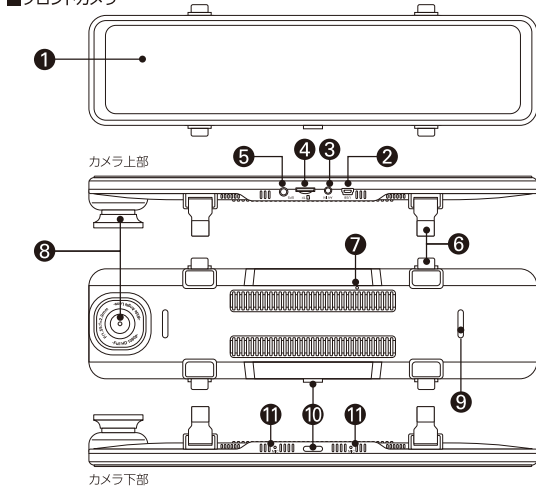
取り付けおよび配線接続される前に、必ず下記同梱物を確認してください。



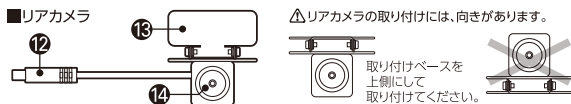
12

■各部の名称

■フロントカメラ



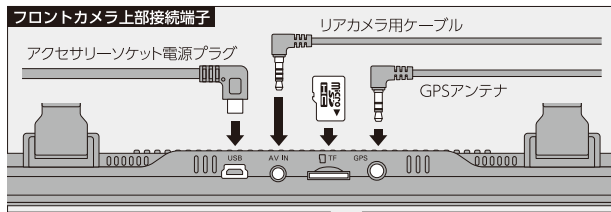
■リアカメラ



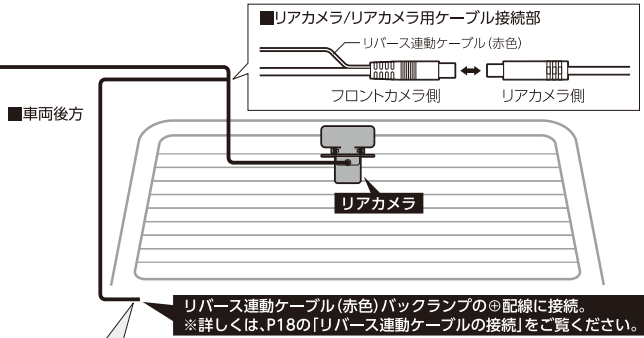
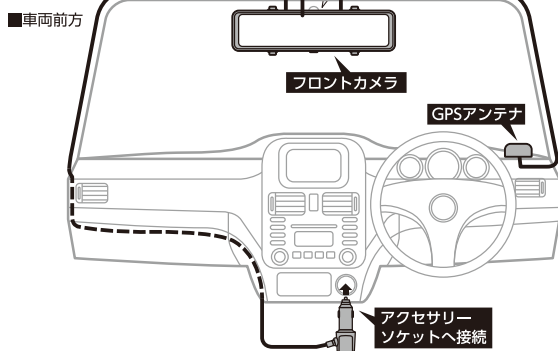
- 1 液晶モニター(ミラー) ※ご使用時に保護フィルムを剥がしてください。
カメラ画像、録画画像、操作アイコンを表示する11.88インチ、タッチセンサー液晶モニター。
- 2 電源入力端子(DC-IN)
アクセサリソケット電源プラグを接続します。
- 3 リアカメラ入力端子(AV-IN)
リアカメラ用ケーブルを接続します。
- 4 microSDカードスロット(TF)
記録用のmicroSDカードを挿入します。*microSDカードの挿入方向にご注意ください。
- 5 GPSアンテナ入力端子(GPS)
位置情報、日時情報を取得するGPSアンテナを接続します。
- 6 取り付けアーム
上下の取り付けアームに固定バンドを使用して純正ルームミラーに固定します。
- 7 リセットボタン
本製品が動作しなくなったり誤作動を起こした際は、先の細い物で押してシステムを再起動してください。
- 8 フロントカメラレンズ ※ご使用時に保護フィルムを剥がしてください。
車両の前方を撮影します。レンズ部は角度調整が可能です。
- 9 スピーカー
操作音や録画映像の音声を出します。
- 10 液晶モニターON/OFFボタン
液晶モニターの表示/非表示を短く押すたびに切り替わります。*長押しで電源のON/OFFが可能です。
- 11 マイクロフォン
映像記録時の周囲音を録音します。
- 12 リアカメラ用ケーブル接続端子
リアカメラ用ケーブルを接続します。
- 13 リアカメラ取り付けベース
両面テープでリアカメラを車両に貼り付けます。*上下方向にカメラレンズの角度調整が可能です。
- 14 リアカメラレンズ ※ご使用時に保護フィルムを剥がしてください。
車両の後方を撮影します。

13

■取り付け配線イメージ



※取り付け配線イメージはあくまでも一例です。お客様の車種に合わせて配線をおこなってください。
※配線作業や本製品を取り付ける前に必ず、フロントカメラ、リアカメラなど全ての部品を仮接続して正しく動作するかを確認してください。
※本製品は、車内取り付け専用です。
※リアカメラやリバース連動ケーブルの配線作業時にはバックドアやトランクをゆっくり開閉して配線が引っ張られたり、挟まれないことを確認してください。

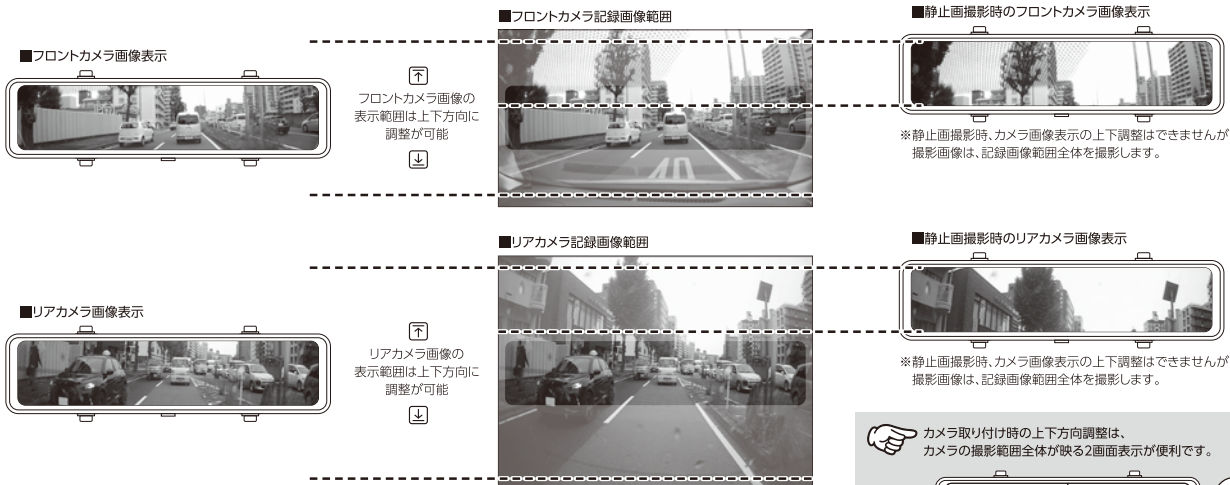


本製品とクルマのバックギアを連動させてご使用するには配線をおこなってください。配線作業には市販のエレクトロタップなどを使用し、お客様の責任のもとおこなってください。
※クルマのバックギアと連動させないで使用する場合は配線作業は不要です。
※クルマのバックランプ配線については、自動車メーカーおよび自動車販売店にご確認ください。

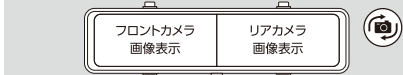
14

■画面表示範囲と記録データについて

本製品の液晶モニターに表示されるカメラ画像と実際に記録される画像範囲は画角の関係上異なります。フロント/リアカメラ画像は上下に調整可能ですが、カメラ画像ができるだけ中央になるようにクルマに取り付けてください。また、静止画撮影時にはカメラ画像の上部のみが液晶モニターに表示されますが撮影画像は、記録画像範囲全体を撮影します。



カメラ取り付け時の上下方向調整は、カメラの撮影範囲全体が映る2画面表示が便利です。



※詳しくはP21の「カメラ画像切り替えアイコン」をご確認ください。

15

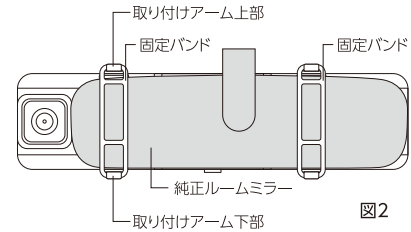
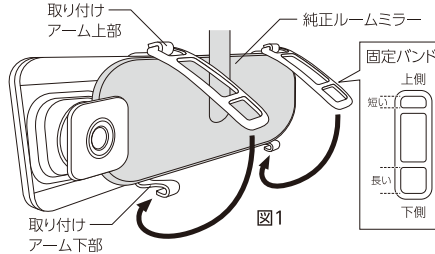


注意

- 道路交通法および、関連する法令、規定類に抵触しないように、正しく取り付けてください。
- 取り付け前に必ず、各ケーブルが接続でき、操作がおこなえる位置であるかを確認してください。
- 本製品は車内専用です。車外に取り付けしないでください。
- 配線処理は運転や乗り降りの妨げにならないように、しっかりと処理してください。
- 各配線が引っ張られた状態で配線の取りまわしをおこなうと、断線や接触不良により正しく動作しない可能性があります。また、電源が入らなくなったり、突然電源が落ちるなどの可能性があります。配線は余裕を持たせて取りまわしてください。
- クルマの各種センサー装置（安全支援装置、各種無線通信機など）に干渉しない場所に取り付け、配線をしてください。
- シートベルトやエアバッグなどの安全装置の動きを妨げる場所には取り付けおよび、配線しないでください。事故の際に安全装置が正常に動作せず、ケガの原因となります。

■フロントカメラの取り付け

1. 本製品の取り付けアーム上部に付属の固定バンドをはめ込みます。
2. 本製品の上下の取り付けアームの間に純正ルームミラーをはめ込みます。
3. 純正ルームミラーで、フロントカメラレンズが隠れないように位置を調整します。
4. 本製品の取り付けアーム下部に付属の固定バンドをはめ込みます。(図1/図2)
5. 純正ルームミラーと本製品が確実に取り付けられていることを確認してください。
6. カメラレンズ部は角度調整が可能です。

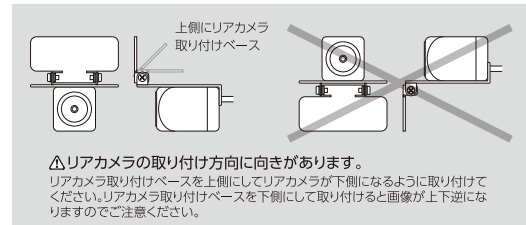
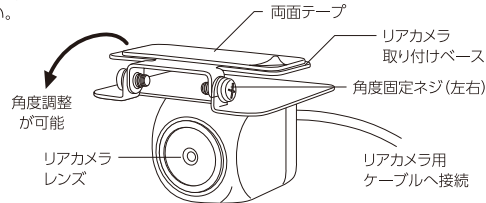


- ※取り付け時、ミラー角度調整時には、純正ルームミラーに強い力が加わらないように本製品と純正ルームミラーをしっかりと支えながら取り付けてください。
- ※カメラレンズ部の角度調整は、液晶モニターでフロントカメラ映像を確認しながらおこなってください。
- ※カメラレンズには触れないようにしてください。レンズ部が曇り鮮明な映像が記録できなくなります。レンズ部のお手入れには市販のレンズクリーナーをご使用ください。

16

■リアカメラの取り付け

1. 取り付けや配線作業前に必ず液晶モニターでリアカメラの映像を確認してください。
2. リアカメラ取り付けベース貼り付け位置の汚れや油分を拭き取ってください。
3. リアカメラ取り付けベースの両面テープで貼り付けてください。

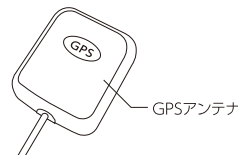


- ※リアカメラは車内取り付け専用です。絶対に車外には取り付けしないでください。
- ※リアカメラやリバース連動ケーブルの配線作業時にはバックドアやトランクをゆっくり開閉して配線が引っ張られたり、挟まれないことを確認してください。
- ※リアカメラの角度調整は角度固定ネジを緩めて、リアカメラ取り付けベースをしっかりと支えながらおこなってください。リアカメラ角度調整後には角度固定ネジを締めてください。
- ※カメラレンズには触れないようにしてください。レンズ部が曇り鮮明な映像が記録できなくなります。レンズ部のお手入れには市販のレンズクリーナーをご使用ください。

■GPSアンテナの取り付け

1. 取り付けや配線前に必ずGPSアンテナの受信状態を確認してください。GPSアンテナはダッシュボードの平らな部分に、なるべく水平に取り付けてください。
2. GPSアンテナの貼り付け位置の汚れや油分を拭き取ってください。
3. GPSアンテナ底面の両面テープで貼り付けてください。

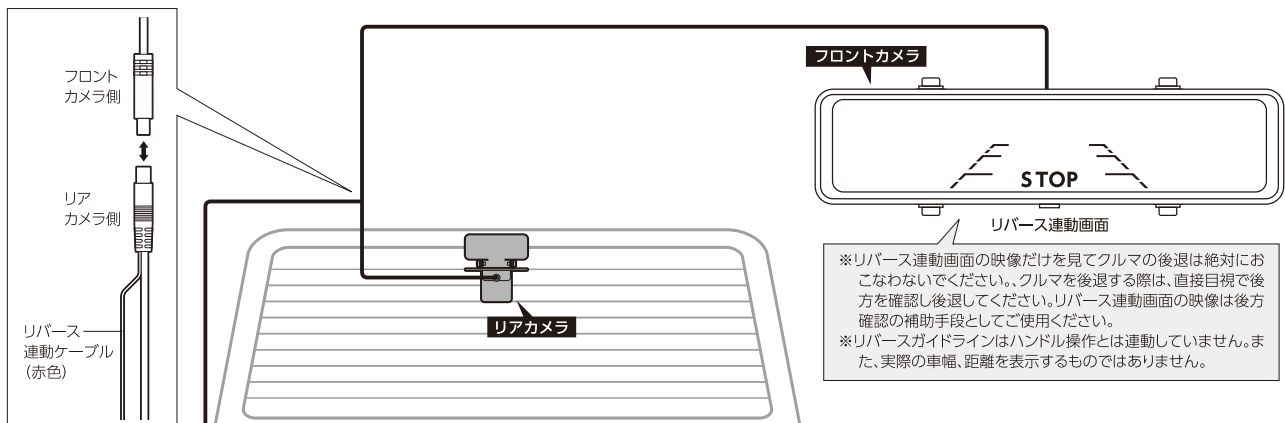
- ※GPSアンテナは防水防塵構造ではありません。絶対に車外には取り付けしないでください。
- ※テレビやラジオアンテナ近くに取り付けしないでください。GPS電波の受信の妨げになったり、テレビやラジオの音声の乱れの原因になります。
- ※フロントガラスが熱反射や断熱ガラスなど電波を通さない場合にはGPSアンテナの受信感度が低下する場合があります。



17

■リバース連動ケーブルの接続

リバース連動ケーブルをクルマのバックランプ④に接続すれば、クルマのギアをリバースに入れると、液晶モニター表示が自動的にリバースガイドラインを表示したリアカメラの映像に切り替わります。



※リバース連動画面の映像だけを見てクルマの後退は絶対におこなわないでください。クルマを後退する際は、直接目視で後方を確認し後退してください。リバース連動画面の映像は後方確認の補助手段としてご使用ください。

※リバースガイドラインはハンドル操作とは連動していません。また、実際の車幅、距離を表示するものではありません。

リバース連動ケーブル(赤色)
クルマのバックランプ④配線に接続。

- 本製品とクルマのバックギアを連動させてご使用する場合には配線をおこなってください。配線作業には市販のエレクトロタップなどを使用し、お客様の責任のもとでおこなってください。
- ※クルマのバックギアと連動させないで本製品を使用する場合は配線作業は不要です。
- ※クルマのバックランプ配線については、自動車メーカーおよび自動車販売店にご確認ください。

18

microSDカードの入れ方/出し方

●microSDカードの入れ方

本製品の電源がOFFの状態を確認してから、microSDカードスロットに、microSDカードを右図の向きで差し込んでください。

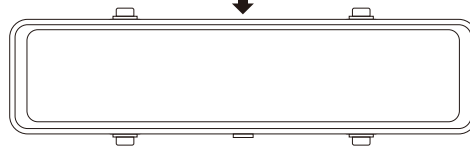
※microSDカードの挿入方向にご確認ください。

●microSDカードの出し方

本製品の電源がOFFの状態を確認してから、microSDカードスロットに挿入されている、microSDカードの中央部を押すと、microSDカードが取り出せます。

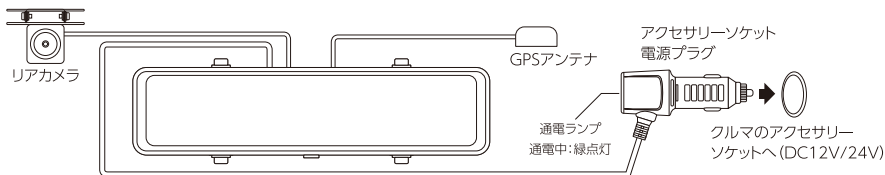
※microSDカードの飛び出しにご確認ください。

microSDカードの挿入方向にご確認ください。



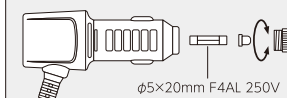
アクセサリソケットへの接続

1. microSDカードを挿入したフロントカメラに、リアカメラ、GPSアンテナ、アクセサリソケット電源プラグのコネクタを接続します。
2. アクセサリソケット電源プラグをクルマのアクセサリソケットに接続してください。
3. クルマのアクセサリソケットが通電状態の場合(クルマがエンジンがかかっている状態やACCの状態)、本製品の電源が自動的にONになり記録が開始されます。
4. クルマのアクセサリソケットに通電が無い状態の時には、本製品の電源は、自動的にOFFになります。



ヒューズの交換方法

万一、本製品のヒューズが切れましたら、先端のキャップを回してはし、市販の管ヒューズに交換してください。定格の異なるヒューズをご使用になると火災や故障の原因となります。



※本製品は国産車専用です。輸入車で使用され、トラブルが発生しても弊社では一切の責任を負いかねます。

※本製品は車載専用です。指定の電圧以外の電源で使用すると、発熱、発火、感電、ケガや故障の原因になりますので絶対におやめください。

※お手入れの際は必ず、本製品をアクセサリソケットから抜いてください。アクセサリソケットから抜かないでお手入れをおこなった場合、感電、ケガ、故障の原因になります。

※ご使用前に、アクセサリソケットの中にタバコのカスやホコリがないかチェックしてください。異物などがあると、通電不良を起こしたり、発熱、火災、ケガの原因になります。

※使用直後は、電源プラグの金属部にさわらないでください。高温になっていることがあり、火傷の原因になります。

19

電源ON/OFF メイン画面

1. クルマのアクセサリソケットが通電状態(クルマがエンジンがかかっている状態やACCの状態)になると、本製品の電源が自動的にONになり起動画面(図1)が表示された後に、しばらくすると液晶モニターにバックカメラ映像とメイン画面(図2)が表示され同時に前後カメラの録画が開始されます。
2. クルマのアクセサリソケットが非通電状態(エンジン停止状態など)になると、本製品の電源が自動的にOFFになります。



図1:起動画面

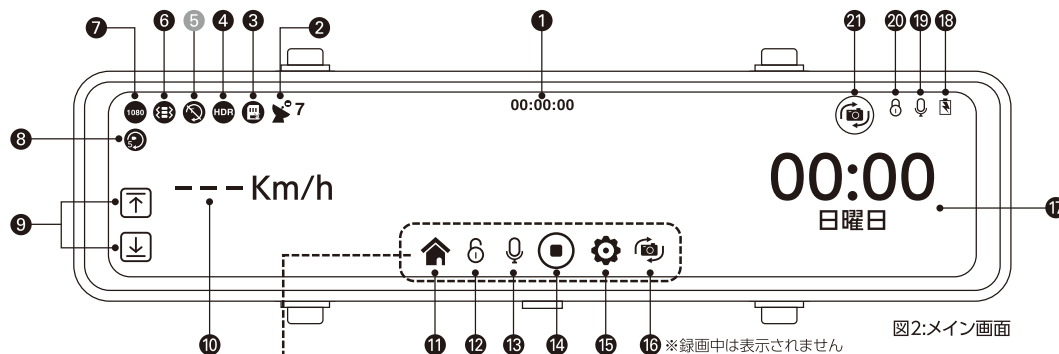


図2:メイン画面

操作アイコンは、操作をしない状態が約10秒継続すると、自動的に非表示になります。
操作アイコンを表示させる場合には再度、液晶モニターをタッチしてください。

20

メイン画面アイコン

- 1 録画ファイル記録時間表示
録画ファイルの記録時間表示(録画中:赤文字)(録画停止中:白文字/録画可能時間を表示)
- 2 GPS受信情報表示
GPS受信状態を表示します。GPSアンテナアイコン横の数字は受信衛星数を表示しています。
- 3 microSDカード異常表示
microSDカード未挿入、または非認識時に表示。microSDカード認識時には表示されません。
- 4 HDR機能表示
HDRの作動状態を表示しています。*HDRは常時ONとなっております。
- 5 駐車監視設定情報表示
駐車監視設定ON/OFFを表示します。ON OFF
*本製品では、駐車監視設定をON設定にしても駐車監視機能は、ご使用いただけません。
- 6 重力センサー(センサー)感度設定表示
重力センサー感度設定を表示します。*OFF設定時には表示されません。
*合わせて、P23(重力センサー)もご確認ください。
- 7 解像度設定表示
解像度設定を表示します。1080P(解像度:高) 720P(解像度:中) VGA(解像度:低)
- 8 循環設定表示(録画時間設定)
録画ファイル時間の設定を表示します。1分設定 3分設定 5分設定 OFF
- 9 カメラ画像表示範囲上下調整アイコン
アイコンをタッチすることで、液晶モニターに表示されるカメラ映像を上方向/下方向に調整が可能。
↑ 表示画像を上側に調整
↓ 表示画像を下側に調整
- 10 速度表示
GPS位置情報から算出された速度を表示します。*GPSが受信されていない場合は正しく表示されません。
*クルマの速度メーター表示と異なる場合があります。
- 11 ホーム画面への切り替えアイコン
ホーム画面に切り替わります。ホーム画面についてはP24をご確認ください。
- 12 録画中ファイルのロック/アンロックアイコン
録画中ファイルを手動でロック/アンロックの設定が可能。
*ロック設定された映像はロックファイルとして保存され、上書き録画されませんが、消えることはありません。
*ロックファイルが増え、microSDカード容量を超えてしまうと新しい録画はできません。

- 13 マイクロフォン設定アイコン
録音用マイクroフォン入力のON/OFF設定。ON OFF
- 14 録画開始/停止アイコン
アイコンのタッチ操作で、録画開始、停止が可能。
*本製品は起動後、自動で録画を開始します。
*録画についてはP23の循環設定(録画時間設定)も合わせてご確認ください。
- 15 設定画面への切り替えアイコン
*設定画面に切り替わります。設定画面についてはP22をご確認ください。
- 16 静止画像撮影モードへの切り替えアイコン
静止画像撮影画面へ
*静止画像撮影モードについてはP25をご確認ください。
*録画中、静止画像撮影モードへの切り替えはできません。
- 17 時間、曜日表示
GPSで受信した時間、曜日を表示します。*GPSが受信されていない場合は正しく表示されません。
- 18 内部キャパシター充電状態表示
電源切断時、シャットダウン動作をさせる内部キャパシターの充電状態を表示します。
- 19 マイクロフォン設定表示
マイクroフォンの設定内容を表示します。ON OFF
- 20 録画中ファイルロック/アンロック表示
録画中のファイルロック/アンロックの設定内容を表示します。
- 21 カメラ画像表示切り替えアイコン
液晶モニターの表示をリアカメラ画像表示/フロント&リアカメラ2画面表示/フロントカメラ画像表示に切り替えが可能です。



21

■設定画面

1. メイン画面 (図1) に表示される、設定アイコンをタッチするとメイン画面右側に各設定アイコン (図2) が表示されます。

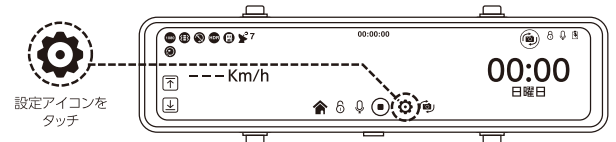
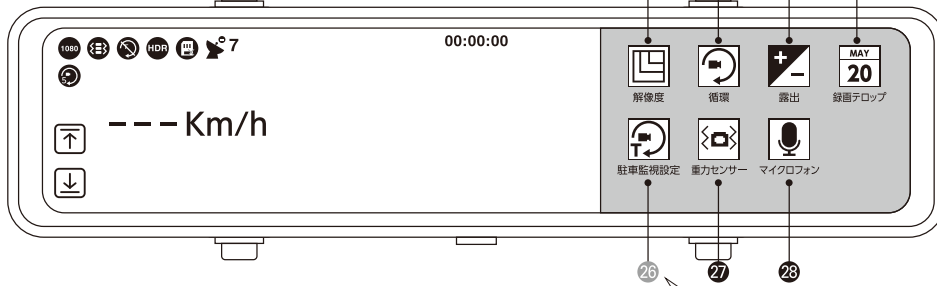


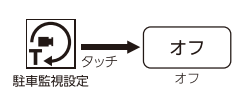
図1:メイン画面

図2:設定アイコン



注意

- 26 駐車監視設定** ※初期設定は「オフ」に設定されています。駐車監視設定アイコンをタッチすると駐車監視設定が表示されます。タッチして駐車監視時の静止画コマ撮り設定が選択できます。※本製品では、駐車監視設定をON設定にしても駐車監視機能は、ご使用いただけません。※駐車監視設定は「オフ」に設定にしてください。



■設定アイコン

- 22 解像度設定** ※初期設定は「1080P」に設定されています。解像度アイコンをタッチすると録画解像度設定が表示されます。タッチして解像度が選択できます。

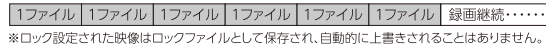


- 23 循環設定 (録画時間設定)** ※初期設定は「1分」に設定されています。循環アイコンをタッチすると録画時間設定が表示されます。タッチしてひとつの録画ファイルの録画時間を選択できます。



■1分/3分/5分設定について

設定された1分/3分/5分のループ (繰り返し) で録画します。microSDカードの容量が上限に達した場合、古いファイルから自動的に上書きされます。



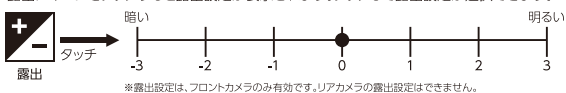
※ロック設定された映像はロックファイルとして保存され、自動的に上書きされることはありません。

■オフ設定について

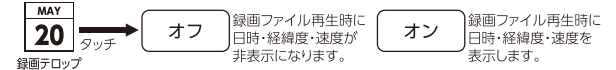
本製品が電源ONになった時に、5分間の録画をおこないます。その後、録画は停止します。



- 24 露出** ※初期設定は「0」に設定されています。露出アイコンをタッチすると露出設定が表示されます。タッチして露出設定が選択できます。



- 25 録画テロップ** ※初期設定は「オン」に設定されています。録画テロップアイコンをタッチすると録画テロップ設定が表示されます。タッチして録画テロップのON/OFFの選択できます。



- 27 重力センサー** 重力センサーアイコンをタッチすると重力センサー設定が表示されます。タッチして重力センサー感度設定が選択できます。



■重力センサー (Gセンサー) について

重力センサーは、衝撃などを感知すると録画ファイルをロックし、上書きなどで録画ファイルを消失しないようにします。※詳しくは、P32「衝撃感知録画」についてご確認ください。

- 28 マイクロフォン設定** ※初期設定は「オン」に設定されています。マイクroフォンアイコンをタッチするとマイクroフォン設定が表示されます。タッチして音声録音のON/OFFの選択できます。



■ホーム画面

1. メイン画面 (図1) に表示されている、ホームアイコンをタッチするとホーム画面 (図2) に切り替わります。

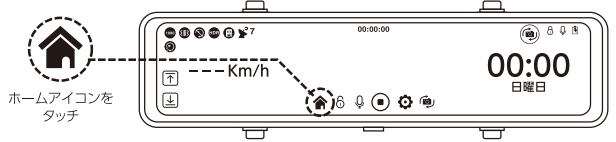
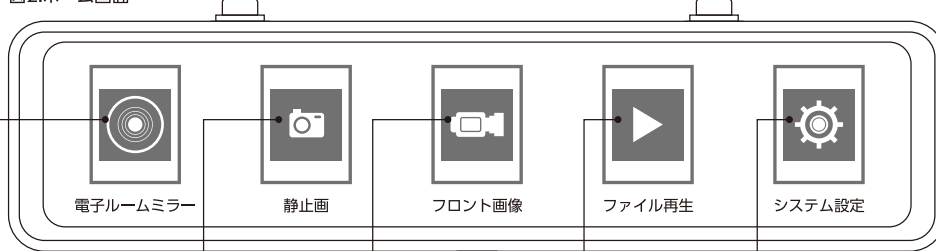


図1:メイン画面

図2:ホーム画面



メイン画面への切り替え (リアカメラ映像表示) タッチするとリアカメラ映像を表示したメイン画面に戻ります。

電子ルームミラー

静止画

フロント画像

ファイル再生

システム設定

メイン画面への切り替え (フロントカメラ映像表示) タッチするとフロントカメラ映像を表示したメイン画面に戻ります。

システム設定画面への切り替え システム設定画面についてはP26をご確認ください。

静止画撮影画面への切り替え 静止画撮影画面についてはP25をご確認ください。

ファイル再生画面への切り替え ファイル再生画面についてはP28をご確認ください。

■静止画撮影画面

1. ホーム画面(図1)に表示される、静止画アイコンをタッチすると静止画撮影画面(図2)に切り替わります。
 ※静止画撮影画面に切り替えると、録画は自動で停止します。再度録画を開始する場合は、メイン画面に戻り、録画開始アイコンをタッチして録画を開始してください。

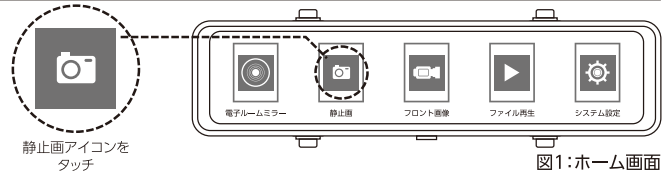
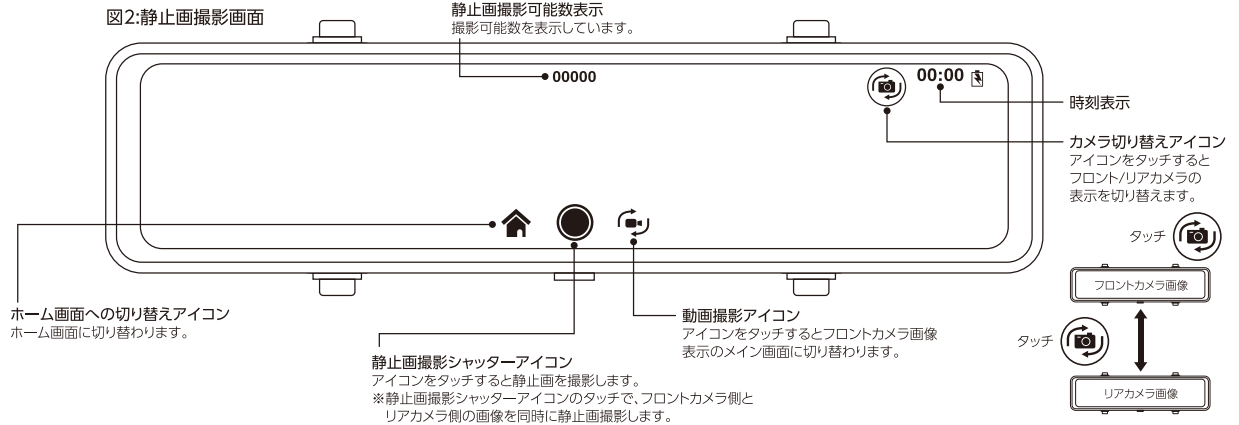


図1:ホーム画面



25

■システム設定画面

1. ホーム画面(図1)に表示される、システム設定アイコンをタッチするとシステム設定画面(図2)に切り替わります。
 ※システム設定画面に切り替えると、録画は自動で停止します。再度録画を開始する場合は、メイン画面に戻り、録画開始アイコンをタッチして録画を開始してください。

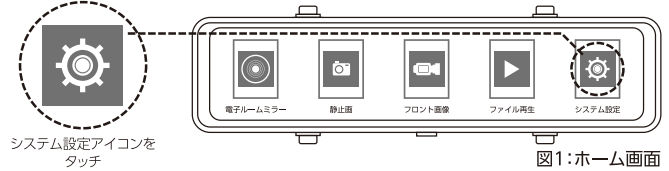
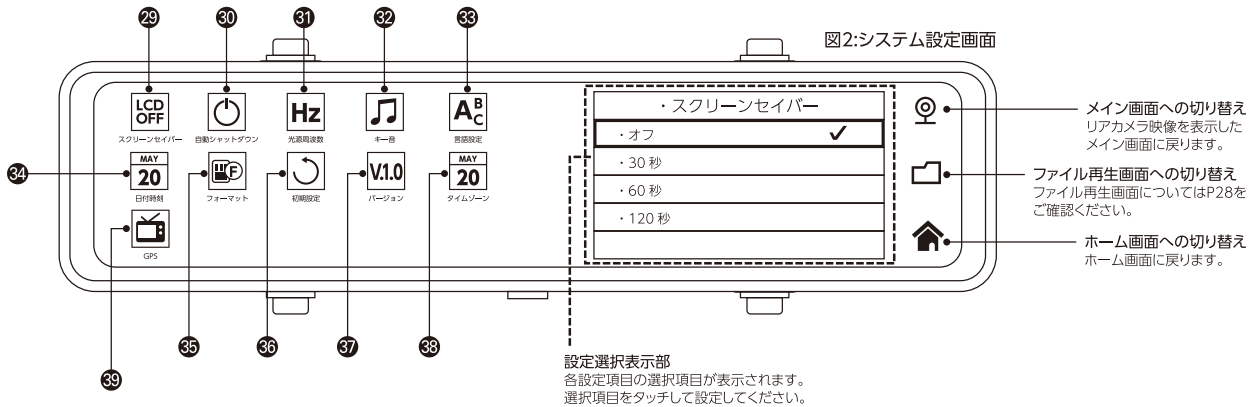


図1:ホーム画面



26

■システム設定アイコン

- 29 **スクリーンセーバー設定** ※初期設定は「オフ」に設定されています。
液晶画面の常時点灯、自動消灯時間を設定できます。
LCD OFF → オフ (常時点灯) 30秒 (30秒後消灯) 60秒 (60秒後消灯) 120秒 (120秒後消灯)
※液晶画面が自動消灯した後、液晶モニターをタッチするか、液晶モニターON/OFFボタンで再点灯できます。
- 30 **自動シャットダウン設定** ※初期設定は「オフ」に設定されています。
本製品起動後に、自動的にシャットダウンする時間を設定できます。
自動シャットダウン → オフ (自動OFFしない) 3分 (3分後OFF) 5分 (5分後OFF) 10分 (10分後OFF)
※基本的には設定は変更せず、オフ設定のみでご利用ください。
- 31 **光源周波数設定** ※初期設定は「50Hz」に設定されています。
ご使用になる地域の電気周波数を設定してください。
Hz → 50Hz (東日本) 60Hz (西日本) ※光源周波数設定は、LED信号機などの
ちらかつきを防止し、正しく録画するため
に必ず、設定してください。
- 32 **キー音(操作音)設定** ※初期設定は「オン」に設定されています。
タッチ操作時の操作音の有/無しが設定できます。
キー音 → オフ (操作音:無し) オン (操作音:有り)
- 33 **言語設定** ※初期設定は「日本語」に設定されています。
表示する言語が設定できます。
ABC → 簡体中文 (中国語) 日本語 (日本語) English (英語)
- 34 **日時設定** 日時の設定。
※通常使用時には、GPSより日時情報を自動取得しますので設定は不要です。
※日時設定値を指で触れたまま上下にスワイプ(指で滑らす)操作後、実行をタッチして設定できます。
- 35 **フォーマット(microSDカードの初期化)**
実行をタッチしてmicroSDカードを初期化フォーマットができます。
※初期化フォーマットするとmicroSDカード内のデータはロックファイルを含め全て消去されます。
フォーマット前に必要なデータは必ずバックアップを保存してください。
※データの読み込み/書き込みスピードが遅くなるためmicroSDカードは
定期的に初期化フォーマットしてください。
- 36 **初期設定(本製品の初期化)**
本製品を工場出荷状態に初期化することができます。
実行をタッチして本製品を工場出荷状態に戻すことができます。
※初期化すると本製品の設定は工場出荷状態に戻ります。
- 37 **バージョン情報**
本製品のファームウェアのバージョンを表示します。
V.1.0
- 38 **タイムゾーン設定**
グリニッジ標準時との時差を設定できます。(標準時と日本の時差 +9:00は初期設定済み)
※標準時との時差設定値を指で触れたまま上下にスワイプ(指で滑らす)操作後、実行をタッチして
設定できます。
- 39 **GPS(GPS衛星捕捉状況の表示)**
GPS衛星の捕捉状況を各GPS衛星番号と受信レベルを確認することができます。



本製品の日時表示はGPSからの情報を自動取得して表示します。本製品起動時には、GPSからの情報が自動取得されるまで少しタイムラグが発生し、正しく日時が表示されない時間があります。

27

■ファイル再生画面

- ホーム画面(図1)に表示される、ファイル再生アイコンをタッチするとフォルダ画面(図2)に切り替わります。

※フォルダ画面に切り替えると、録画は自動で停止します。再度録画を開始する場合は、メイン画面に戻り、録画開始アイコンをタッチして録画を開始してください。

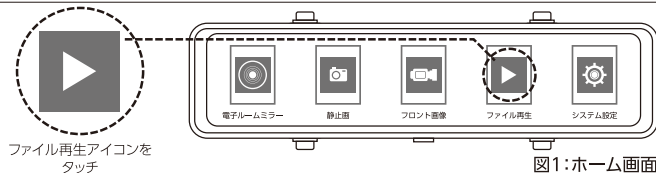


図1:ホーム画面

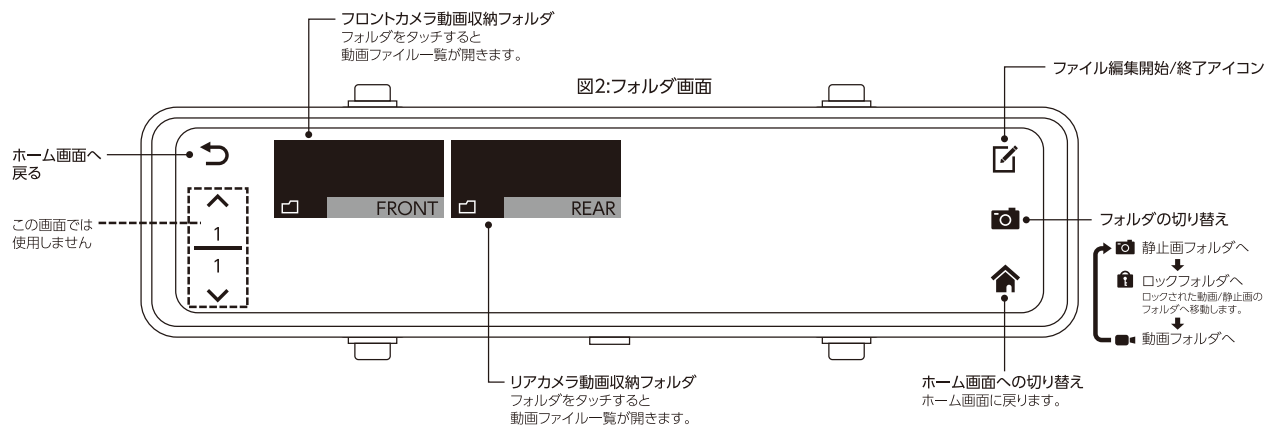
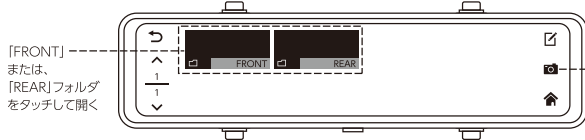


図2:フォルダ画面

28

■動画ファイル再生

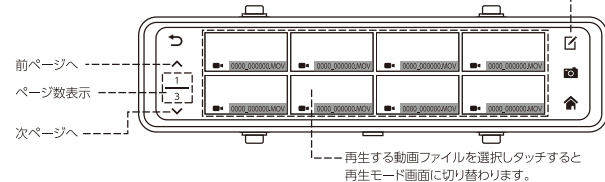
- フォルダ画面の「FRONT」または、「REAR」フォルダを選択し、タッチしてください。



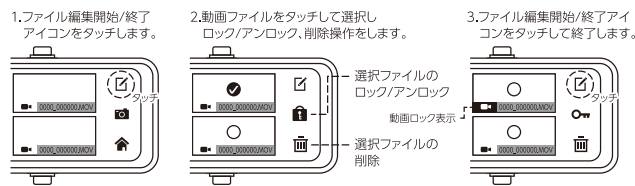
表示フォルダの切り替えについて



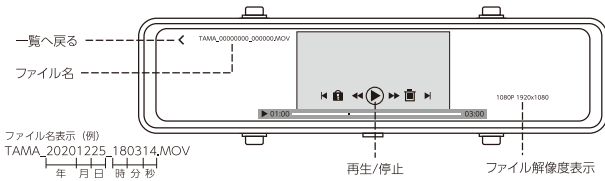
- フォルダ内の動画ファイル一覧が表示されます。



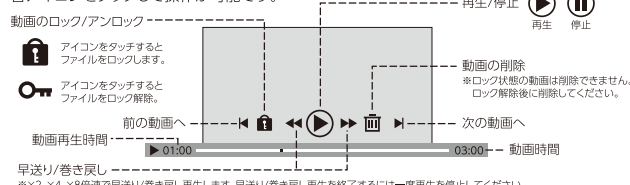
ファイル編集開始/終了アイコン



- 再生モード画面内の再生/停止アイコンをタッチすると再生されます。



各アイコンをタッチして操作が可能です。



ファイル名表示 (例)
TAMA_20201225_180314.MOV
年 月 日 時 分 秒

※×2、×4、×8倍速で早送り/巻き戻し再生します。早送り/巻き戻し再生を終了するには一度再生を停止してください。

29

■静止画閲覧画面

- ホーム画面(図1)に表示される、ファイル再生アイコンをタッチするとフォルダ画面(図2)に切り替わります。

※フォルダ画面に切り替えると、録画は自動で停止します。再度録画を開始するには、メイン画面に戻り、録画開始アイコンをタッチして録画を開始してください。

- フォルダ画面右側のフォルダ切り替えカメラアイコンをタッチすると静止画フォルダ画面(図3)に切り替わります。

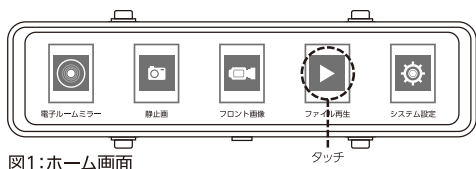


図1:ホーム画面



図2:フォルダ画面

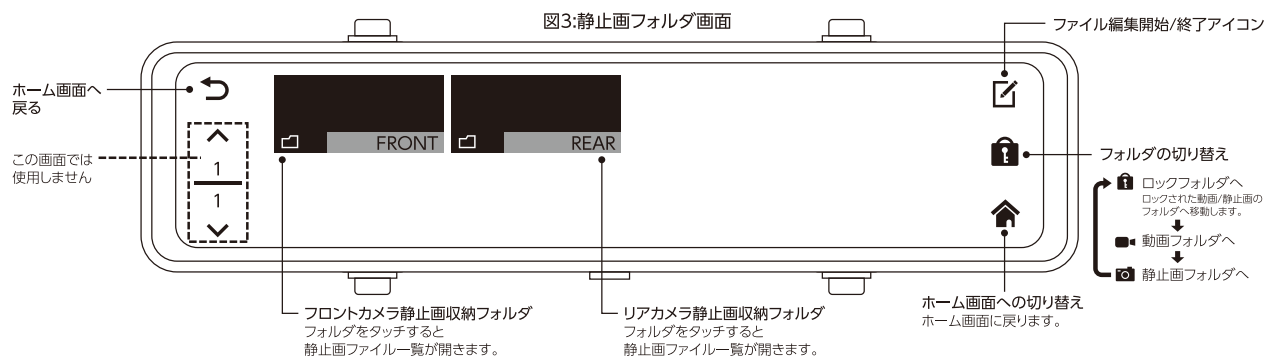
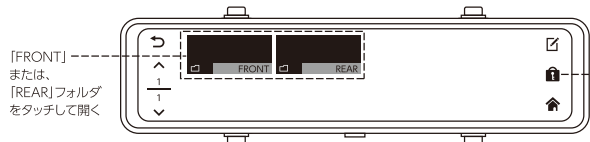


図3:静止画フォルダ画面

30

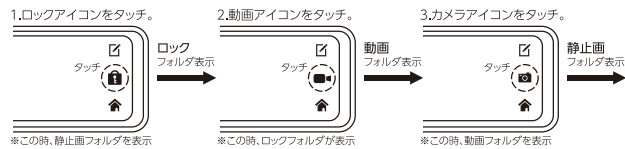
■静止画の閲覧

1. 静止画フォルダ画面の「FRONT」または、「REAR」フォルダを選択し、タッチしてください。



「FRONT」
または、
「REAR」フォルダ
をタッチして開く

表示フォルダの切り替えについて

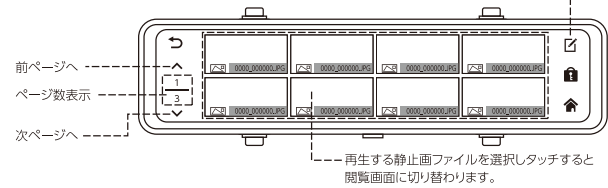


※この時、静止画フォルダを表示

※この時、ロックフォルダを表示

※この時、動画フォルダを表示

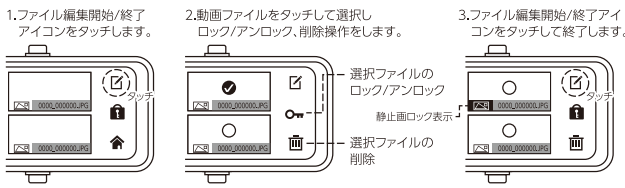
2. フォルダ内の静止画ファイル一覧が表示されます。



前ページへ
ページ数表示
次ページへ

再生する静止画ファイルを選択しタッチすると
閲覧画面に切り替わります。

ファイル編集開始/終了アイコン



1.ファイル編集開始/終了
アイコンをタッチします。

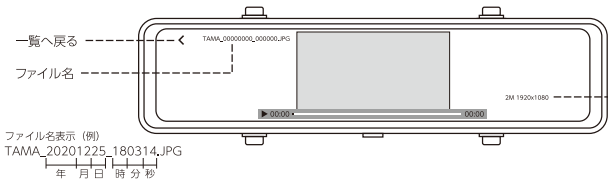
2.動画ファイルをタッチして選択し
ロック/アンロック、削除操作をします。

3.ファイル編集開始/終了アイ
コンをタッチして終了します。

選択ファイルの
ロック/アンロック
静止画フォルダ表示

選択ファイルの
削除

3. 閲覧画面に選択した静止画が表示されます。



一覧へ戻る
ファイル名

ファイル解像度表示

ファイル名表示 (例)
TAMA_20211225_180314.JPG
年 月 日 時 分 秒

ロックフォルダ内の動画/静止画についても、「動画ファイルの再生」「静止画の閲覧」と同様の操作方法をご覧ください。

■常時録画・衝撃感知録画について

●常時録画

本製品は、電源がONになると自動で録画が開始されます。

録画されるファイル時間はP23で設定された循環設定(録画時間設定)の「1分」、「3分」、「5分」のファイルでループ(繰り返し)録画します。microSDカードの容量が上限に達した場合、古いファイルから自動的に上書きされます。

※手動で録画を開始された場合にも上記と同様の動作になります。

※P23で設定された循環設定(録画時間設定)で「オフ」の設定にされた場合は、ループ(繰り返し)録画せず、5分間録画後、録画は停止します。



●衝撃感知録画

本製品には、衝撃を感知する重力センサー(Gセンサー)を搭載しています。常時録画中に重力センサーが衝撃を感知すると録画中の動画ファイルを自動でロック設定し、ファイルの上書き消失、削除を防ぎます。

※P23で設定された重力センサー(Gセンサー)の感度設定も合わせてご確認ください。

※本製品の重力センサーは小さな衝撃では衝撃感知録画がされない場合があります。必要な記録データはロック設定をおこなうか、パソコンにバックアップしてください。



※衝撃感知録画でロックされるのは、1ファイルのみです。必要なファイルは手動でロック設定をおこなうか、パソコンにバックアップしてください。

衝撃感知録画で録画されたロックファイルは、上書きされずにmicroSDカードに保存され続けます。ロックファイルがmicroSDカードの容量上限まで達した場合、新しく録画ができません。必要に応じて、microSDカード内の不要なファイルを削除するか、microSDカードのファイルをパソコンにバックアップしてmicroSDカードをフォーマット(microSDカードの初期化)をおこなってください。

■PCビューソフト(ダウンロード)のご紹介

PCビューソフト(再生ソフト)を使用すると、本製品で録画した動画をPCで再生することができます。

弊社ホームページより専用のPCビューソフト(無料)がダウンロードできます。

ダウンロード方法や使用方法など詳細は弊社ホームページの製品ページをご確認ください。

<https://tamadenco.co.jp/product/tdr02mfr/>



注意

PCビューソフト(無料)ダウンロードサービスは、OSのアップデートなど動作環境の変化により、予告なくサービスを終了する場合があります。



PCビュー画面

・再生動画の自転車位置を地図上に表示 ・進行方向や速度を表示 ・撮影時の日付、時間を表示

PCビューソフトは、本製品専用です。他の製品には、ご使用いただけません。

※弊社では、PCビューソフトのサポートはおこなっておりません。PCビューソフトのダウンロードや使用に関しては、お客様の責任もおこなってください。

■製品仕様

※製品の仕様および外觀は、改良などの為予告なく変更することがあります。

フロントカメラ:イメージセンサー	1/2.8型CMOSセンサー
視野角(画角)	水平120° /垂直60° /対角:140°
F値	F 2.0
総画素数/録画画質	1920×1080(約208万画素)/FHD
フレームレート	27.27fps
動画記録最高解像度	1080P(1920×1080)
静止画記録最高解像度	FHD(1920×1080)
Gセンサー	3軸Gセンサー
スピーカー/MIC	シングルチャンネル8Ω/1W
液晶モニター	11.88inch タッチパネル 解像度:1480×320
記録媒体	microSD HCカード(8GB~64GB)Class10以上推奨
ファイル形式	動画:[.mov]/静止画:[.jpg]
ループ(常時)録画単位時間	1分/3分/5分(上書き保存)
録画可能時間(解像度1080P設定時)	16GB:約1時間15分/32GB:約2時間30分
使用電源電圧	DC12V/24V
消費電力	最大10W/平均7.5W
外形寸法/重量	W290×H72.5×D39mm(カメラ突起部含む)/366g
リアカメラ:イメージセンサー	1/2.8型CMOSセンサー
視野角(画角)	水平90° /垂直50° /対角:140°
F値	F 2.0
総画素数/録画画質	1920×1080(約208万画素)/FHD
フレームレート	25fps
動画記録解像度	1080P(1920×1080)
静止画記録解像度	VGA(640×480)
外形寸法/重量	W45×H36×D44mm/45g
動作温度	-10℃~+60℃
保管温度	-20℃~+70℃

34

保証規定

保証期間 / ご購入日より **6ヶ月**

必ず、購入明細書を本書およびパッケージと一緒に保管してください。万一、修理の際は、現品に購入明細書と本書およびパッケージを添え、記載の当社住所までお送りください。なお、修理後の保証期間の延長はいたしません。

●保証期間内に、本書およびパッケージ記載の注意事項をお守りいただいた正しい使用状況で、万一故障した場合には本製品をお預かり後、修理、または交換します。また、本製品の不具合に関連して生じた本製品以外の損害・工賃・費用・データ損失に関しては、一切の補償をいたしかねます。また、代替品の先送りなどのご対応はいたしかねます。

※次の場合は保証対象外となります。

- 1) 本製品(修理対象品)と購入明細書、本書およびパッケージの提示がおこなわれない場合。
- 2) 本書およびパッケージ記載の注意事項や免責事項をお守りいただいていない場合。
- 3) 個人売買や正規販売店以外で、ご購入した場合。
- 4) 地震、火災、落雷、台風などの災害により故障した場合。
- 5) ご購入後、落下や衝撃などの事象により故障した場合や水没、汚れにより故障した場合。
- 6) 健康被害が生じた場合。
- 7) 本製品や付属品を紛失・破損した場合。

●本製品は日本国内での使用を前提としており、日本国外で使用された場合、弊社では一切の責任を負いかねます。

●本製品は国産車(右ハンドル、四輪車、DC12V/24V車)専用です。それ以外の車で使用され、製品の故障、損害などが発生しても当社では責任を負いかねます。

●本製品のご使用が事故や法令違反の原因になりましても、一切の補償をいたしかねます。

●microSDカードや両面テープなどの消耗品が故障や損傷にいたりましても、一切の補償をいたしかねます。

●異物、水分付着による風食・ショート等の動作不良や変形・破損・紛失は保証対象外とさせていただきます。また、ケーブルを折り曲げたことによる断線についても保証対象外とさせていただきます。

●お預かりした製品が、保証対象外と認められる場合、修理費用等、実費負担をご請求させていただきます。あらかじめご了承ください。

●本保証書は日本国内のみ有効です(This warranty is valid only in Japan).

●ご返送時にご記入いただいたお客様の個人情報は、商品の修理に関するご連絡、修理・交換の対応以外の目的に使用いたしません。なお、上記利用目的の実施に必要な範囲で、業務委託先に預託する場合がありますのでご了承ください。

35